

| | |
|---|---|
| <p>11日 (日) レビ記 26章</p> | <p>「わたしは主である」(2節)、「主が…御自分とイスラエルの 人々との間に定められた掟と法と律法である」(46節)。主が モーセを通して与えられた掟の最初と最後は、「わたしは主で ある」という神の宣言で締めくくられる。主がわたしたちに託さ れた掟は、わたしたちが「イスラエルをエジプトから救い出した 神こそがわが主である」と告白するために必要なもの。</p> |
| <p>12日 (月) レビ記 27章</p> | <p>「奉納物はすべて、神聖なもので主に属する」(28節)。主に 奉納された人も家畜も穀物はすべて、主に帰属する。わたし たちはイエス・キリストによって、罪の代価が支払われ、すでに 神に属するものとされた。「雄山羊と若い雄牛の血によらない で、御自身の血によって、ただ一度聖所に入って永遠の贖い を成し遂げられたのです」へブライ人への手紙9章12節</p> |
| <p>13日 (火) 民数記 1章</p> | <p>「イスラエルの人々の共同体全体の人口調査をしなさい。」 (2節)。神の民は、ルベン族、シメオン族、ユダ族、イサカル 族、ゼブルン族、エフライム族、マナセ族、ベニヤミン族、ダン 族、アシエル族、ガド族、ナフタリ族、そして数に入らないレビ 族や女性・子どもなどがいた。その多くの人たちとその違いを 超えて一緒に生きることを主は望んでおられる</p> |
| <p>14日 (水) 民数記 2章</p> | <p>「すべて主がモーセに命じられたとおりに行き、それぞれの 旗の下に宿営し、またそれぞれ氏族ごとに、家系に従って行 進した」(34節)。モーセとアロンだけがイスラエルの民を導く のではなく、一緒に共同体をつくる責任を共有する人たちを 民の中に主がたててくださった。イスラエルの民の命を守り合 う共同体の輪が広がっていく。私たちの共同体はどうだろうか</p> |

| | |
|--|--|
| <p>15日 (木)</p> <p>民数記 3章</p> | <p>「すべての初子はわたしのもの…。エジプトの国で初子を打ったとき、わたしはイスラエルの初子を…ことごとく聖別して、わたしのものとした」(13節)。レビ族には礼拝を整える働きが託されるのと同時に、イスラエルの民と神が繋がっていることを示すための働きも託されている。私たちが神の民の共同体に入っていることを喜びたい</p> |
| <p>16日 (金)</p> <p>民数記 4章</p> | <p>「彼らの一人一人をそれぞれの仕事と荷物に割り振る。そうすれば…聖なるものをかいま見ることはなく、死を招くことはない」(19-20節)。主の前に立つ責任をアロン一人だけで担うのではなく、一緒にその働きを担う同志がいることは、心の支え。キリストの教会の働きを私たちは分かち合いながら、担い合う。その分かち合うことを喜ぶわたしたちとされて。</p> |
| <p>17日 (土)</p> <p>民数記 5章</p> | <p>「何か人が罪を犯すことによって、主を欺き、その人が責めを負うならば、犯した罪を告白し、完全に賠償し、それに五分の一を追加して損害を受けた人に支払う」(5-6節)。キリストによって罪を贖われた私たち。赦された私たちは、主に何をお返しすることができるだろうか。キリストの贖いへのお返しと、五分の一の贖いは、何をもって返すことができるだろうか。</p> |
| <p>18日 (日)</p> <p>民数記 6章</p> | <p>「主が御顔を向けてあなたを照らし、あなたに恵みを与えられるように」(25節)。主が私の顔を照らしてくださる喜び。主に照らされて私の顔は輝く。おそらくこの表現は、夜明けの光がもたらす喜びを連想して生まれたものだろう。暗闇のなかから徐々に光りでる朝の太陽。今日も主の御顔に照らされて、恵みを受け、大胆に主の福音を伝えに出て行こう。</p> |